

# 京都精華短期大学

'77年度入学あんない (男)(女)(共)(学)



受験生のみなさんが本校に入学して、いよいよ新学期が始まる一九七七年四月に、われわれの大学は、創立して十年目に入ります。

よく「十年、一昔」といいますが、みなさんの経験からいえば、小学校に入学してから中学校を卒業し高校に進学する年が、十年目であつたわけです。その間、すばらしい成長やいろいろな想い出があるでしょう。

われわれの大学の十年にも、いろいろな想い出があります。本学は、英語英文科、美術科、両科にまたがる一般教育の三科がありますが、創立の翌年の春から、つぎつぎに春になるたびに、逝去されました。経験豊かな老大家たちが、つぎつぎなくなれたことは、中心をうしなつたようなもので、大打撃でした。しかし、中堅・新人の先生たちが奮起し、他校では見られない若々しく張り切つた大学にしました。のびのびとした雰囲気、自由への志向も、ウグイスの鳴く洛北の立地条件とともに、こうして見事に定着したのです。若い職員たちも頑張りま

した。用務員のおじさん・おばさんたちも、寮母さんたちも、大学をこよなく愛して、励んでくれています。このパンフレットを、めくつて眺めてください。みんないっしょになつて頑張っている様子が、おわかりでしょう。要するに、出発直後の不幸を乗り越え、災を転じて「創造」をしたわけです。

また、新しく小さく名もまだ知られていない大学への進学者の質というものも、みなさんは想像がつくでしょう。しかし、これらの学生諸君は、おどろくべき成長と努力をみせてくれました。美術科を例にとれば、賞をいくつも獲得し、若いホープと美術界から見なされている者が、すでに数人出ているのです。自分はダメだと自ら挫折した者たちも、そうでないことに目覚めたからです。われわれとしては、教育のあり方を、学生たちから教えられたわけです。そして、われわれの大学は、急速に内外に評価を高め、充実発展をとげてきました。「十年一日のごとく」でなく、年ごとに自己更新して励んできたわけです。

そして、いよいよ十年目に入る現在、この九年間の経験を活かし、新鮮で革新的ピ

ジョンにたつて、短大英語英文科の再充実、四年制美術学部（一九七八年開設予定）を、目指しています。

教育とは、学生と教職員との息のあつた協同作業です。全国に、短大・四年制大学をあわせると九百何十校とありますが、その中でもユニークでかわだつた大学を、みなさんとともに、つくつてゆきましょう。

自由の創造のため、われわれと息のあつた協同作業を志向する学生のみなさんの入学を心から待っています。

学長／深作光貞

# THE SLOPE



